

アクションプランだより

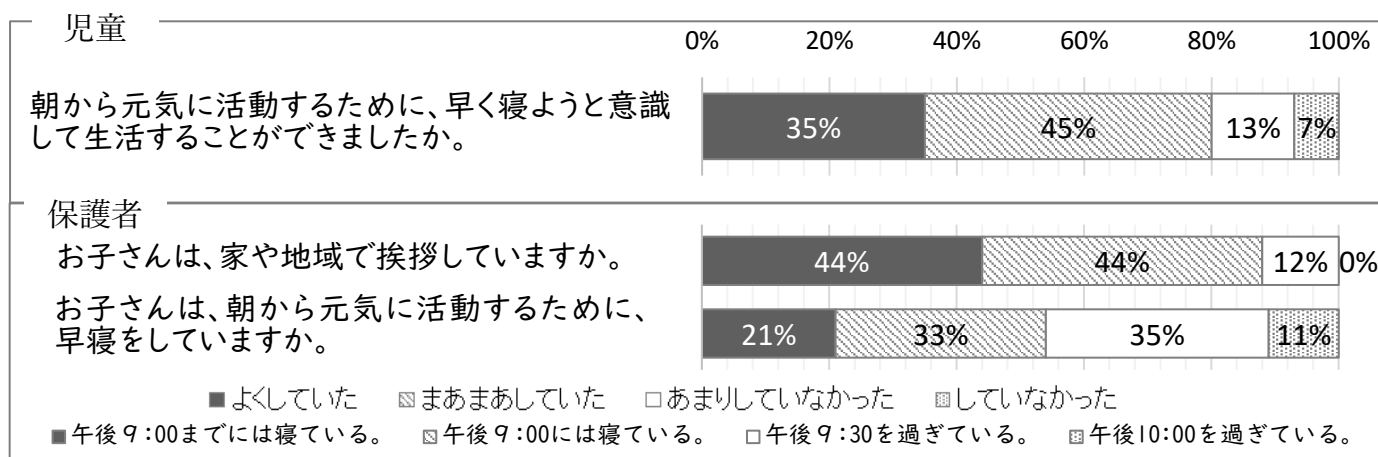
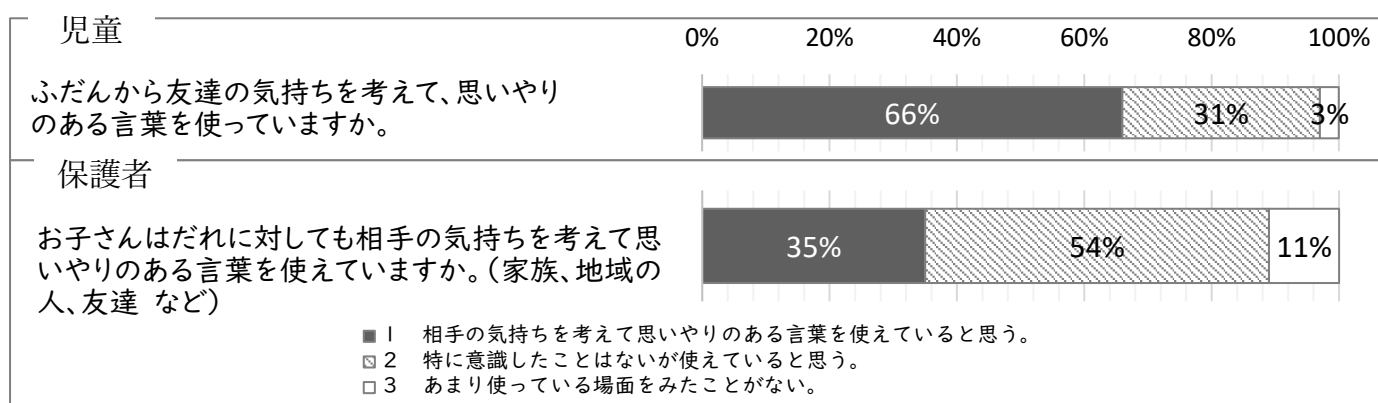
— 1 学期 —

アクションプラン1

重点項目 思いやりのある子供の育成

重点課題 思いやりのある言葉を使うことができる

<達成目標> 相手の気持ちを考えて言葉を使うことができたと自己評価する児童が85%以上。



- ・「思いやりのある言葉を使っているか」という項目で、「よくできた」「まあまあできた」と答えた児童は97%保護者は89%であった。しかし、思いやりのある言葉を使うときに、「相手の気持ちを考えて使っている」と答えた児童の割合は66%、保護者は35%であり、児童と保護者では差があった。
- ・「早く寝よう意識して生活することができたか」の項目では、「よくできた」「まあまあできた」と答えた児童は80%であった。また、「午後9:00には寝ている」と答えた保護者は54%であり、児童と保護者では差があり、早寝の実態は低めである。
- ・相手の気持ちを理解し、思いやりをもって関われるよう、朝活動で SST や関係づくりゲームを取り入れる。
- ・継続的に体を鍛えるために、朝活動や休み時間を使い、体力の向上を意識した運動を行い、楽しく友達と関わりながら運動できるようにする。
- ・早寝への意識を高め、生活習慣の見直しを促すため、「健康パワーアップ週間」に記された児童の取組で、工夫がみられる事例を紹介する。

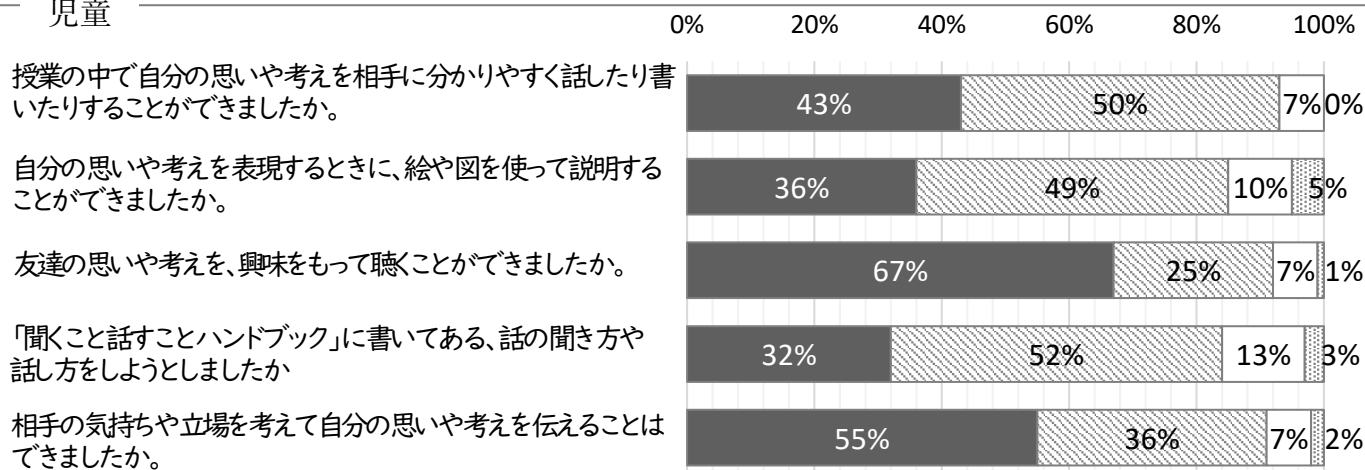
アクションプラン2

重点項目 基礎学力の確立

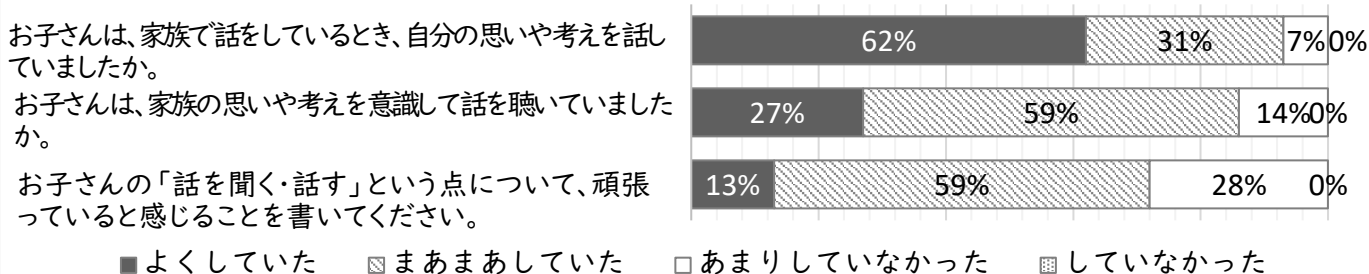
重点課題 相手を意識して話を聴いたり、自分の思いや考えを相手に伝えたりすることができる。

＜達成目標＞ 相手を意識して話を聴いたり、自分の思いや考えを相手に伝えたりすることができたと自己評価する児童が 85%以上

児童



保護者



- ・「授業の中で自分の思いや考えを相手に分かりやすく話したり書いたりすることができた」と答えた児童は 93%、「絵や図を使って説明することができた」と答えた児童は 85%、「友達の思いや考えを、興味をもって聴くことができた」と答えた児童は 92%であった。また、「お子さんは、家族で話をしているとき、自分の思いや考えを話していた」と答えた保護者は 93%で「家族の思いや考えを意識して話を聴いていた」では 86%であり、目標を達成した。
- ・昨年度作成した「聞くこと話すことハンドブック」をノートに貼り、すぐに見られるようにするなど、児童の必要に応じて活用できるようにした。引き続き、児童が自信をもって思いや考えを相手に伝えられるような場を設定していく。
- ・相手の話をしっかりと聴くためには、内容を聴き漏らさないようにする必要がある。そこで、ハンドブックにある「聞くこと」の項目を意識し、学年に合わせてねらいをもたせていく。発表者へのフィードバックについては、発表者に自分の思いを表すことができるよう、ハンドサインや相づちで反応するなど、各学級の実態に応じた取組を行う。
- ・普段の授業の中だけでなく、行事や委員会活動でも、自分の思いや考えを表現する機会を意識して設定していく。

裏面に記述アンケート結果掲載

★ アクションプラン1 ★ 言葉遣いや生活習慣に関して

保護者アンケートより

- ・優しい言い方で相手に伝えるように伝えている。(1年保護者)
- ・早寝早起きをする、人の気持ちを考えて話すよう伝えている。(2年保護者)
- ・おはよう、おやすみ、いただきます、ごちそうさまなど、最低限のことは必ず言うようにしている。親が乱暴な言葉を使わないようにしている。(3年保護者)
- ・就寝時は、なるべくみんな一緒に布団に入り、起床時はほぼ同じ時間帯に起きるようにしています。言葉遣いにおいては家庭内で悪い言葉を使ったらその場ですぐ注意するようにしています。(4年保護者)
- ・挨拶をするように伝え、できていなかったら指摘している。声が小さくて相手に聞こえていなかったら、していないことになるかと伝えている。(5年保護者)
- ・「自分がされて嫌なことはしない。自分が嫌なことをされても仕返ししない。うまくいかなかったことを人のせいにしない。」ということを家族全員で意識しています。(6年保護者)



★ アクションプラン2 ★ 「話を聞く・話す」という点について

- ・自分の考えや思をちゃんと言葉にして話してくれているなど感じる。(1年保護者)
- ・よく話す子なので、たくさん話をしてくれる。友達と話をする際に、言葉が強くなっている場面をよく見るので、相手の気持ちを考える事ができたらよいかなと思う。(2年保護者)
- ・人が話をしている時は割って入らない様に待っている。(前は待てなかった。) 本やテレビなどで初めて知った言葉を使っている。語彙は少ないが、自分の気持ちを少しずつ、考えて言えるようになってきた。(3年保護者)
- ・学校での出来事を嬉しそうに話したり、宿題をしたりしているときの様子をみると、頑張っていると感じる。(4年保護者)
- ・携帯を見ないように話している。人の顔を見るようにしている。(5年保護者)
- ・帰ってきたら、学校であった事、頑張った事、嫌だった事を含め、たくさん話してくれる。(6年保護者)



☆あなたはどんな気持ちで思いやりのある言葉を使っていますか☆

児童アンケートより

- ・心配する気持ちで「大丈夫」と使った。(3年児童)
- ・友達に優しくしてあげたい。(4年児童)
- ・こんな事を言われて嬉しいかどうかを、言う前に心の中で考えてから使っている。(4年児童)
- ・場面によって友達がよい気持ちでいられるように。(5年児童)
- ・相手が元気が出るように。(5年児童)
- ・優しい気持ちや、思いやりの気持ちでほかほか言葉を使っています。(6年児童)
- ・相手が嫌な気持ちにならないように考えて使っている。(6年児童)



よい習慣を続けていきましょう。

★お忙しいところ、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。